



平成20年11月21日（金）、大阪・京橋の「太閤園」にて、関西武夫原会総会・懇親会が約60名の参加を得て開催されました。

私は当日、会場入口のテーブルで会計係として皆さんの到着を待ったのですが、懐かしい笑顔に次々と会えるとやはりうれしいものですね。旧友を見つけて歓声



があがったり、学年を超えて語りの輪が

-3-

広がったり……。

総会の事業・会計報告に続いて懇親会がスタートすると、辛子蓮根や馬刺しといった熊本名物や豪華なパーティー料理が次々とテーブルに運ばれて、「おおっ、このときを待っていました！」という共感に包まれます。アルコールのおかげもあって、熊大時代の思い出にタイムスリップ。月に一度、仕送りが届いたときの楽しみが、薬園町にある屋台で『おばちゃん、今日は何でも持ってきて！』と注文することだったY先輩など、皆さんの“あの頃”の思い出話は尽きません。

恒例のビンゴゲームでは、皆さんのご協力で数多くの賞品が並びました。ペア食事券、解禁となったばかりのボージョレー・ヌーヴォー、各種焼酎、バター、コラーゲン、傘やストールなど、いずれ

も魅力的な品々。『ビンゴ シュート！』のかけ声にも力が入ります。

また、今回初めての試みが、オークションの開催です。これは、会のひっ迫した財政状況を改善すべく企画されたもので、①小倉遊亀 シルクスクリーン「双麗」、②ゴルフバッグ が出品され、①は娘夫婦の新築祝いに何としても落札したかったO先輩、②は関西武夫原会のゴルフ同好会会長のもとへ、円満に競り落とされました。

振り返って残念だったのは、谷会長と川添副会長が欠席だったこと。「武夫原頭に草萌えて」の合唱に元気をいただいて、来年の再会を誓いました。次回は、より多くの方の参加をお待ちしています。